

区議会レポート

64号

2020年6月2日発行

発行:

かつしか区民連合

【区議会控室】 〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

fax 03-3697-0137

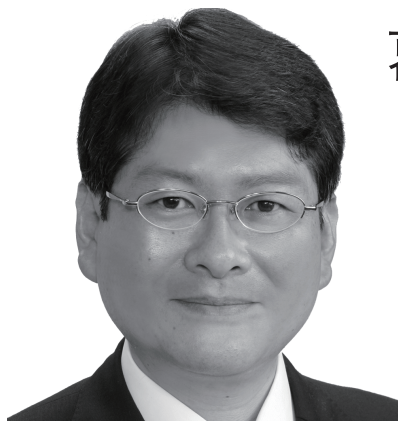
葛飾区議会議員

かわごえ誠一

本号の内容

表面: 区議会臨時議会報告

裏面: 予算審査特別委員会報告など



臨時議会開催 新型コロナウイルス関係補正予算成立

◆5月26日に緊急事態宣言が解除されました。しかし、新型コロナウイルス COVID-19 への感染リスクが無くなったわけではありません。引き続き警戒をし、社会活動を再建していく必要があります。(なお、かつしか区民連合として4月3日に葛飾区長宛に新型コロナウイルス対策緊急要望書を提出しました。→緊急要望号参照) ◆去る3月

27日に令和2年葛飾区議会第一回定例会が閉会し、令和2年度当初予算(一般会計2,049億1,000万円)が議決されましたが、その後、4月7日に新型コロナウイルスの拡大で特措法に基づく緊急事態宣言が発令され、状況が大きく変わりました。◆5月には新型コロナウイルス対策のための臨時議会が2回開催されましたのでここで報告します。

■ 第一回臨時議会 第一次補正予算 ■ 特別定額給付金など議決

◆5月1日(金)に令和2年第一回臨時議会が開催され、第一次補正予算473億397万6千円を議決しました。

□一般会計: 特別定額給付金給付事業費 472億7千万円

一人当たり10万円の給付金。5月29日までに区内約23万世帯への申請書の発送完了。順次振込み中。

□国民健康保険事業特別会計: 傷病手当金給付事業費 3,397万6千円

国民健康保険加入者の休業による所得保障について、新型コロナウイルス感染症に対応するための補正。

■ 第二回臨時議会 第二次補正予算 ■ 新型コロナウイルス対策など議決

◆5月15日(金)に令和2年第二回臨時議会が開催され、第二次補正予算31億2915万9千円を議決しました。

□新型コロナウイルス感染症対策経費 35億1,124万円

○児童福祉費: 子育て世帯臨時特別給付金について国の給付金と合わせ、区として1万円の上乗せ。

○社会福祉費: 住居確保給付金。放課後等デイサービス給付金など。

○公衆衛生費: 感染者移送経費・勧告入院医療給付金など。

○産業経済費: プレミアム付商品券発行拡大事業経費: プレミアム率を10%から20%へ、また発行部数を10万セットに拡充。新型コロナウイルス対策緊急融資事業経費として利子全額補給など。

○教育費: 小・中学校での学校休業中のインターネット教材配信使用料。

○感染症防止用品購入費: 区内各施設(地区センター・福祉施設・小中学校・保育園・幼稚園・図書館など)へ配備。

○減額補正: 新型コロナウイルスによるイベント等の中止により、3億8,268万1千円が減額補正されました。

■ かわごえ誠一連絡先 ■

〒124-0012 葛飾区立石8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail: info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト

www.kawagoeseiichi.com

日々の活動はFacebookをご覧ください。

◆ かわごえ誠一プロフィール ◆

●昭和38年3月川崎市生まれ ●東海大学第二工学部建設工学科卒業

●立石在住32年 ●一男二女の父親 ●保育園/学童保育クラブ父母会、

小中学校PTA、おやじの会、図書館友の会、子育てネットワーク、保田

しおさい学校、三番瀬保全活動などに携わる。●元東京工業大学附属

科学技術高校非常勤講師 ●本田消防団第四分団員 ●葛飾区ボッチャ

協会会長 ●元都議会議員伊藤まさき秘書を経て平成25年区議会議員

選挙で初当選・平成29年二期目当選 ●区議会所属: 文教委員会・副

委員長/地域活性化・区民サービス向上対策特別委員会/広報委員会

令和2年葛飾区議会 第二回定例会 開会

◆6月4日に区議会第二回定例会が開会され、第三次補正予算案12億9百万円が計上されます。今回の補正予算では新型コロナウイルス感染症対策経費として地域外来・検査センター運営委託経費（医師会館に設置）、教育費で家庭学習環境整備費としてモバイルルータ購入等の経費を計上、また、災害対策経費として福祉避難所へ

の蓄電池購入経費や学校避難所へのゴムボート・簡易ベッド・LED投光器等の備蓄経費、他（仮称）新小岩地域活動センターに係る建設経費、子ども未来プラザ等建設経費、教育情報化推進経費としてプログラミング教材購入費なども計上されています。その他、今定例会では緊急事態宣言中や解除後の課題についても審議をしてまいります。

■葛飾区新型コロナウイルス感染症関連情報■

- ◆区内感染者状況：感染者数136名・死亡者数1名（5月28日現在）
※地域外来・検査センターでの検査実施状況：PCR検査31件・陽性件数0件（5月28日現在）
- ◆区立学校について：6月1日より再開。一週目は全校1時間ずつの登校。二週目から1クラスを半分に分け、午前・午後の分散

- 登校での授業の実施及び昼食の提供開始。夏休みは8月8日（土）から8月24日（月）までとする。プール授業・運動会等は中止とする。
- ◆保育園等：休園は終了するが、6月30日までは家庭での保育を要請。保育料は日割りでの対応とする。
- ◆新型コロナ対策緊急融資：認定件数・国1,032件 区・1,352件
葛飾区テイクアウト＆出前店舗 区ホームページ掲載件数186店舗

令和2年区議会第一回定例会 予算審査特別委員会 報告

■予算審査特別委員会 総括質疑 報告■

◆第一回定例会予算審査特別委員会において、かわごえは3月3日に開かれた総括質疑に登壇しました。そのうち「新型コロナウイルス対策について」の質疑は前号63号に掲載いたしましたので、今号ではそれ以外の質問項目の一部を掲載いたします。

■公契約条例について

◆公共事業の質を保障するためには良質な労働者を確保する必要がある、そのためにも公契約条例の早期の制定を求める。

■地域活性化・人口導入政策としての空き家活用について

◆SDGsの目標のひとつにも「住み続けられるまちづくり」が掲げられている。「空き家」が増えることは、都市の持続可能性にとって大きな課題となる。本区としても持続可能なまちづくりを進めるため、人口導入も含めハード面の対応とともに、全庁的な空き家利活用の組織作りと体制整備をすべきだ。

■地域福祉計画とひきこもりへの支援について

◆ひきこもりの高齢化～8050問題の対応について、家族への支援をすすめるべきだ。また、ひきこもり支援団体との連携を求める。

■障害者雇用について

◆今後、葛飾区として技能系も含めて障害者が活躍できる職場、職種拡大を求める。



◆予算審査特別委員会で質疑するかわごえ

■予算審査特別委員会 分科会 報告■

◆予算審査特別委員会では4つの分科会に別れ審議しました。かわごえは第三分科会（環境費・都市整備費）、第四分科会（教育費等）を担当しました。ここに分科会での意見を記載します。

■第三分科会（環境費・都市整備費）

- ◆環境費：「ゼロエミッション宣言」達成に向け全庁的な取り組みを求める。環境基本計画には地域循環共生圏の導入を求める。
- ◆都市整備管理費：用途地域は隣接自治体との指定の差の是正を求める。住宅基本計画策定では人口導入策として空家等の活用を求める。空家等対策経費では柴又重要文化的景観を念頭に置いた空家等の利活用のための体制整備を求める。
- ◆公園費：公園再生事業経費ではあらかわ水辺公園について、開設当時の環境再生を求める。鎌倉公園整備経費では野草園について専門的な管理を求める。

■第四分科会（教育費・各特別会計等）

- ◆教育総務費：スクールソーシャルワーカーは人材育成も含めた体制整備を求める。学校図書館支援はガイドラインの周知とコーディネーターの活用に期待する。総合教育センターにおいて、教育相談は新型コロナでの休校中の相談の周知を求める。にほんごステップアップ教室は日本語学級も含め指導者の資質向上を求める。不登校対策の校内適応教室の拡充を求める。
- ◆小学校費：校舎建設経費では改築対象校の近隣小中学校等との合築も視野に入れた計画策定を求める。
- ◆社会教育費：PTA研修経費ではPTAやおやじの会の支援のあり方の検討を求める。公共図書館は施設の老朽化やICT化を視野に入れた図書館運営方針の計画策定を求める。

雑感◆3月以来の区議会レポートです。ソーシャルディスタンスをはかりながらの活動にご理解賜りますようお願いいたします。◆先般、区議会レポート62号で告知したミニ学習会『「聴こえ」について考える』と『学校図書館の最新の情勢』を開催いたしました。緊急事態宣言発令の前に行うことができたことは幸いだったと思います。ご参加いただいた皆さまに感謝申し上げます。その後、感染症予防のため、人が集まる場を作ることができず、タウンミーティングや学習会なども開催することができなくなりましたが、今後、新型コロナウイルスの状

況を見据えながら、タウンミーティングなどの企画したいと考えています。複合災害への対応、貧困対策、空き家対策などテーマは山盛りです。しばらくお待ちください。◆今回の新型コロナウイルス感染症 COVID-19 は私たち人間社会が築き上げてきた「人と人とが出会い、つながり、支え合う」という価値観を大きく揺さぶる事になりました。その中でも社会的に弱い立場の人々に影響が大きく現れていることもあぶり出されました。自粛生活の中で何が失われたのか、今、何が必要とされているのかなど早急に検証し対応していききたいと思います。